

氏名	西 原 隆
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 559 号
学位授与の日付	昭和58年9月30日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	Intrahepatic distribution of T cell and T cell subsets in cases with type B chronic liver disease by peroxidase-labeled antibody method using monoclonal antibodies. (モノクローナル抗体を用いた酵素抗体法によるB型慢性肝疾 患症例の肝組織中のT cellおよびT cell subsetsの分布につ いて)
論文審査委員	教授 木村郁郎 教授 太田善介 教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

モノクローナル抗体を用いた酵素抗体間接法によりB型慢性肝疾患23例(うちHBe抗原陽性19例)の肝組織内T cellおよびT cell subsetsの分布を観察し、同時にHBs抗原とHBc抗原の分布も酵素抗体直接法にて観察した。膜状HBs抗原は23例中16例で認められ、HBc抗原は15例で陽性であった。これらの症例で、pan-T cell (Leu-1陽性細胞)は主として門脈域および実質内のfocal necrosisの部位に認められ、特にT cytotoxic/suppressor cell (Len-2a陽性細胞)はpiecemeal necrosisの部位や、focal necrosisの部位にしばしば認められた。慢性肝炎例で急性増悪期に肝生検できた症例の中に、pan-T cellおよびT cytotoxic/suppressor cellがpiecemeal necrosisやfocal necrosisの部位により顕著に観察される症例が認められそ。これらの結果より、B型慢性肝疾患における肝細胞壊死の機序の1つとして、T cell cytotoxicityが関与していることが示唆された。

論文審査の結果の要旨

本研究はモノクローナル抗体を用い、酵素抗体法によって B型慢性肝疾患症例の肝組織中の T cell および T cell subsets の分布を研究したものであるが、従来十分検討されていなかった慢性肝炎組織中の T cell について特に T cytotoxic/suppressor cell が壊死部に多く認められ、肝細胞壊死の機序の一つとして T cell cytotoxicity が関与している可能性を認め、重要な知見をえたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。